

感謝

平成二十五年五月一日
平成二十五年五月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園への ご協力ありがとうございます。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

北杜市 堀込 一幸 様

ボランティア活動

レクボランティアほがらかグループ

代表 吉田 道子 様

レクボランティアゆずつこの会

代表 佐野 恭子 様

北杜市 うたなかま八ヶ岳

保坂 多枝子 様

北杜市 佐藤 美代 様

北杜市 青柳 昭次 様

北杜市 新海 昭枝 様

北杜市 井上 早智子 様

北杜市 三村 明子 様

愛寿会後援会へのご協力

・ 蕪崎市円野町 伊藤 政照 様

・ 北杜市白州町 名取 富雄 様

・ 北杜市白州町 小林 雅彦 様

・ 品川区豊町 渡邊 一弘 様

・ 富士市久沢 中山 義昌 様

・ 北杜市長坂町 坂本 天地 様

・ 北杜市長坂町 清水 米香 様

・ 北杜市長坂町 八巻 都久美 様

・ 甲府市相生 務台 喜一郎 様

・ 甲府市古上条町 清水 利彦 様

・ 北杜市白州町 宮澤 弘 様

・ 北杜市白州町 名取 佐紀子 様

・ 北杜市小淵沢町 由井 正夫 様

・ 北杜市小淵沢町 平井 みかこ 様

・ 新市区大久保 進藤 茂男 様

・ 甲斐市富竹新田 植松 一雄 様

・ 北杜市白州町 (有)坂本商事 山本 文彦 様

・ 北杜市長坂町 板山 長治 様

・ 北杜市長坂町 内田 由紀子 様

・ 北杜市長坂町 仲田 盛興 様

・ 北杜市長坂町 向井 純雄 様

・ 北杜市長坂町 三井 美智子 様

・ 北杜市長坂町 小澤 和正 様

・ 北杜市長坂町 岩下 正代 様

・ 多摩市貝取 堤 辰彦 様

・ 北杜市長坂町 成田 幸子 様

・ 北杜市長坂町 川端 和希 様

・ 北杜市長坂町 八木 みなと 様

・ 北杜市高根町 保坂 行美 様

・ 諏訪郡富士見町 坂本 喜八郎 様

・ 北杜市小淵沢町 今井 勝良 様

・ 北杜市長坂町 田中 教思 様

・ 甲斐市龍地 山坂 一臣 様

・ 北杜市長坂町 窪田 幸治 様

・ 東村山市恩多町 小澤 正征 様

・ 北杜市武川町 石水 肇 様

・ 横浜市緑区 天野 敏男 様

・ 南アルプス市野牛島 仁科 敏衛 様

・ 北杜市長坂町 貞廣 孟史 様

・ 北杜市須玉町 宮崎 良幸 様

・ 葛飾区白鳥 森 フミ 様

・ 府中市栄町 板山 恵美子 様

・ 三鷹市上連雀 橘山 恵子 様

・ 北杜市小淵沢町 中嶋 英子 様

・ 北杜市長坂町 (有)宮坂自動車 内藤 紀宏 様

・ 北杜市大泉町 日野 丈士 様

・ 北杜市大泉町 藤森 正毅 様

・ 北杜市長坂町 白砂 光男 様

・ 北杜市小淵沢町 細野 昌一 様

・ 北杜市大泉町 萩原 英二 様

・ 北杜市長坂町 守屋 建設(株) 田中 勝海 様

・ 北杜市長坂町 浅川 徳子 様

・ 北杜市大泉町

愛寿会のサービスにご意見・ご要望、また、施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

愛寿会だより

6 月号
第 168 号
平成 25 年
6 月 1 日発行



5 月 23 日（木）に行われました第 196 回評議員会・第 36 回理事会の様子

創立四十周年を迎え、よりやすらぎのある施設運営に努めます

社会福祉法人 愛 寿 会 常務理事
特別養護老人ホーム 仁生園 園長 清水 元 義



この度、四月一日付をもって小尾章臣前常務理事・園長の後任として、社会福祉法人愛寿会の常務理事・特別養護老人ホーム仁生園の園長を拝命いたしました。

私は、平成二十二年四月から法人事務局長として勤務して参りました。それ以前には、長坂町役場・北杜市役所の職員として勤務して参りました。

行政機関在職中には、高齢者介護並びに障害者支援の業務に携わる機会がなかったために、これまでは福祉施設の運営、介護業務の現状に直面し、日々戸惑うことばかりでありました。

国・地方の財政が悪化し、社会保障の分野においても厳しい歳出見直しが迫られています。社会福祉施設への補助金の交付金化・一般財源化等の見直しが行われ、介護報酬もマイナス改定が続いている等介護保険事業・障害福祉サービス等事業を取り巻く環境は大きく変化し、荒波にさらされている状況にある中、園長という大役を仰せつかり身が引き締まる思いでございます。

八ヶ岳南麓の厳しい環境の中で、役員・職員が一丸となって利用者様やご家族様の立場に立って、一人ひとりがその人らしく、安心して毎

日を過ごしていただけるよう、やすらぎのある施設運営に努めて参りたいと考えております。

おかげをもちまして、愛寿会は本年で創設四十周年を迎えることができました。平成十五年の創設三十周年の折には、現在一号館としている施設の整備事業が完了しました。また、昨年には、障害者支援施設「第二仁生園」の五周年記念式典が挙行されています。本年十月には創設四十周年の記念式典を開催する予定であります。

開設して四十年の間に培われた、地域の皆様との絆を大切に、特色ある「選ばれ・愛される施設」として、地域との協働と貢献に従前にも増して努める所存でございます。

今後とも前任者同様関係各位、地域の皆様、ボランティアの方々等の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

三つの基本方針

- 利用者本位のサービスの実践
- 専門性の活かせる職場づくり
- 地域社会との協働と貢献

七つの誓い

「はい」、「すみません」、「ありがとう」、「おかげさま」、「どうしましたか」、「そうですね」、「させていただきます」

理事会・評議員会が開催されました

平成二十四年度 事業報告 並びに 決算報告 が承認されました

五月二十三日（木）午後二時から当園会議室において、第百九十六回理事会並びに第三十六回評議員会が開催され、平成二十四年度の事業報告・決算報告が行われました。
五月九日（木）に実施された愛寿会監事による監査報告も同時に行われ、適正な事業運営と会計処理が了承されました。

□ 事業報告

平成二十四年度事業の主な実施項目（十項目）について列挙してみました。
一、愛寿会理事・評議員の任期が満了となり、役員を選任が行われました。
二、グループホーム「やすらぎ」のデイサービス運営規程を制定しました。
三、仁生園夏祭りの開催・・・七月二十五日・第二仁生園、七月二十八日・仁生園、夏祭りが開催され、参加していただいた皆様にご好評をいただきました。
四、グループホーム「やすらぎ」の和室を改修し、快適な居住空間が確保できるようになりました。
五、仁生園ショートステイセンターの送迎サービス用車輛の整備事業が完了しました。
六、十二月二十日、第二仁生園、開設五周年記念式典が開催されました。
七、介護福祉士資格取得のため、五月から十二月にかけて、二十一回の講習会を行いました。三名の合格者を獲得しました。
八、従来型個室に係る過誤返戻事務の実施に着手しました。
九、研究委員会による研究委員会集録が第五号として取り纏められ発行しました。

■ 決算報告（経常活動の部）

平成二十四年度は、平成二十三年七月に通知された新しい会計基準での初めての決算となりました。
一、サービス活動収益の状況・・・介護報酬の改定の結果、前年度との比較では、約一千五百八十万円の減額となりました。（△3.2%）
二、人件費の状況・・・人件費の収益（収入）に対する割合は、福祉施設では60〜65%が望ましいとされています。今年度は61.8%（前年度59.1%）でした。
三、事業費の状況・・・事業費を施設利用者の皆様に直接関わる費用と考えますと、削減の対象とはできない性質の費用です。事業費の収益（収入）に対する割合は、全国の介護施設の総平均が15.4%で、当会も同じ数値となっています。
四、事務費の状況・・・サービス活動収益の減少が予想されていたため、極力削減の方針で事務運営にあたり、約1.0%圧縮することができました。

貸借対照表 (単位=千円)

資産の部	
科 目	当年度末
流動資産	530,926
固定資産	2,042,671
基本財産	1,663,332
その他の固定資産	379,339
資産の部合計	2,573,597
負債の部	
科 目	当年度末
流動負債	91,040
固定負債	250,758
負債の部計	341,798
純資産の部	
科 目	当年度末
基本金	413,238
国庫補助金等特別積立金	762,248
その他の積立金	292,500
次期繰越活動増減差額	763,813
(うち当期活動増減差額)	56,282
純資産の部計	2,231,799
負債及び純資産の部合計	2,573,597

事業活動計算書 (単位=千円)

科 目	当年度決算
サービス活動収益計 (1)	813,521
サービス活動費用計 (2)	765,179
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	48,342
サービス活動外収益計 (4)	7,618
サービス活動外費用計 (5)	4,445
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	3,173
経常増減差額 (7) = (3) + (6)	51,515
特別収益計 (8)	7,552
特別費用計 (9)	2,785
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	4,767
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	56,282
前期繰越活動増減差額 (12)	742,531
当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	798,813

仁 生 園

野 点

晴天に恵まれ、五月三日（金）満開の八重桜の下で、野点を開催する事が出来ました。

中庭でやりわりとした時間の中、和服姿の職員が、皆様にお点前

を披露し、和菓子と一緒に召し上がって頂きながら、お抹茶の感想や満開の桜の話に会話が弾み笑顔が多く見られました。

また、和服姿の職員も大変好評で、多くの入所者の方々が参加され楽しい時間を過ごしました。春の時期に行っている「野点」ですが、利用者の方々から「年に数回開催してほしい」という要望があるほど好評です。



グループホームやすらぎ 家族会



お天気に恵まれた五月二十三日（木）、「春の家族会」行事として、長野県諏訪湖周辺へ日帰りで行って来ました。

「ホテル朱白」で食事を楽しみ、温泉に入ったり遊覧船に乗ったり、初めてのバスの旅で最高の一日を過ごしました。

腰痛予防研修会

「ノーリフトポリシー」「抱えない介護」等の言葉をよく耳にしますが、国は腰痛に悩む介護職員の増加を受け、約二十年ぶりに腰痛予防対策指針の見直しを行います。

仁生園においても大きな課題で、理事長から対策の指示をいただきました。そこで長野県厚生連が運営する老健「あたらぎ」の理学療法士である五味先生に協力をお願いし、五月二十二日愛寿会全職員対象に「腰痛予防研修会」を開催しました。



厚生連で行っている取り組みについて説明後スライドディングシート、ボード等の使用、実際の事例検討を行いました。簡単な用具や現存の用具も、きちんとしたアセスメント後、活用することにより負担軽減に繋がること等気がかされました。今後も毎月実施予定です。腰痛予防、軽減の足掛かりとなることを期待します。



衣料ショッピングのご案内

夏物の衣料ショッピングを、七月七日（日）仁生園内多目的ホールで行います。

商品を手に取り、肌触りやデザイン等を確認することが出来るため、入所者の皆様もとても楽しみにしています。

第二仁生園

毎年恒例のバーベキュー

五月二十九日、バーベキューをしました。

園庭での予定をしていましたが、あいにくの小雨の日でしたので、玄関前で焼き肉をして、隣接の喫茶ルームでの食事を楽しみました。

材料は・・・牛カルビ、豚ロース、焼き鳥、ウインナー、野菜、焼きそばなど。



玄関からの炭火焼きの「いい匂い」で、利用者様も待ち遠しくニコニコ顔でした。外は梅雨空でしたが、喫茶ルームは賑やかな楽しいバーベキュー会でした。

赤い羽根共同募金会（北杜市社会福祉協議会）からの助成金による施設整備事業

生活支援ハウス「こあらま」にアルミウッドチェア・テーブル等整備事業が終了しました。

菜園作りの憩いの場になったりです。本当にありがとうございました。

